

JAPANESE UTILITY MODEL ABSTRACT (JP)

PUBLICATION

(51) Int. Cl.: G11B 27/034

(11) Publication No.: hei4-126385

(21) Application No.: hei3-32449

(43) Publication Date: 18 November 1992

(22) Application Date: 10 May 1991

(71) Applicant:

GUNMA NEC

32 OAZANISHIYAZIMA, OTASHI, GUNMAKEN, JAPAN

(72) Inventor:

ARAI TORU

(54) Title of the Invention:

CD Editing and Recording Apparatus

Abstract:

An apparatus for editing and recording pieces reproduced from a compact disc (CD) by a CD player in another medium by freely setting time intervals between the pieces without damaging the contents of the CD. A piece-to-piece time interval signal 2, which indicates the time interval between pieces reproduced by a CD player 1, is transmitted to a CD editing apparatus 3. A time interval is set and a set piece-to-piece time interval signal 5 is generated in a main circuit 4. The piece-to-piece time interval signal 5 is transmitted to a piece-to-piece time interval adjusting circuit, and the corresponding piece-to-piece time interval is displayed through a display portion 6-1. A piece-to-piece interval time indicator signal 8 is output to a setting portion 6-3, the time interval corresponding to the signal 8 is set and output to a cassette deck in the form of a zero piece-to-piece time interval signal 10. When there is a need to change the piece-to-piece time interval set in the setting portion 6-3, the zero piece-to-piece time interval signal 10 is output to a piece-to-piece time interval adjusting portion 602 so that the piece-to-piece time interval is adjusted and a piece-to-piece time interval adjusted signal 9 is output to the display portion 6-1.

(18) 日本国特許庁 (J P)

(19) 公開実用新案公報 (U)

(10) 実用新案出願公開番号

実開平4-126385

(43) 公開日 平成4年(1992)11月16日

(51) Int. Cl. <sup>4</sup>	発明番号	庁内発明番号	F. I.	技術表示所
G 11 B 27/034 19/02	Q 6225-5D 6224-6D		G 11 B 27/02	X

特許請求 未請求 請求項の数1(全3頁)

(21) 出願番号 実開平3-82449  
(22) 出願日 平成3年(1991)5月10日

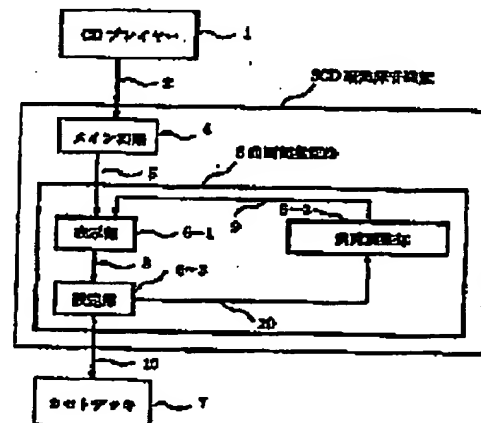
(71) 出願人 000165033  
群馬日本電気株式会社  
群馬県太田市大字西矢馬2番地  
(72) 発明者 野井 亨  
群馬県太田市大字西矢馬2番地群馬日本電  
気株式会社  
(73) 代理人 弁護士 内原 行

(54) 【発明の名称】 CD複製装置

(57) 【要約】

【目的】 CDプレイヤーから発生する曲間時間を自由に決定してCD本体の内容を用いことなく他の記憶媒体に複製する。

【構成】 CDプレイヤー1から発生する曲と曲の間の時間を表す曲間信号2はCD複製装置3に送られ、メイン回路4で曲間は予め設定されたある一定の時間に設定される。設定された設定曲間信号6は曲間調整回路6に送られ、この曲間調整回路6の表示部6-1で設定された曲間時間が表示される。表示された曲間表示信号8は、設定部6-3に出力され、曲間時間を設定し、それを曲間信号10としてカセットデッキ7に出力する。また、設定部6-3で設定された曲間時間を変更したい場合、曲間信号10は曲間調整部6-2に出力され、曲間時間が曲間調整部6-2で調整され、曲間調整信号9として表示部6-1に出力される。



超平4-126385

- 2 曲間信号
- 3 CD減速静音時間
- 4 メイン信号
- 5 設定曲間信号
- 6 曲間調整可能
- 6-1 表示部
- 6-2 曲間調整部
- 6-3 設定部
- 7 カセットデッキ
- 8 曲間表示信号
- 9 曲間調整信号
- 10 曲間信号

10	8	急関表示信号
	9	曲間戻座信号
	10	曲間無待待

10	8	急関表示信号
	9	曲間戻座信号
	10	曲間無待待

10	8	急関表示信号
	9	曲間戻座信号
	10	曲間無待待

10	8	急関表示信号
	9	曲間戻座信号
	10	曲間無待待

10	8	急関表示信号
	9	曲間戻座信号
	10	曲間無待待

【考案の詳細な説明】

【0001】

【産業上の利用分野】

本考案はCD編集録音装置に関する。

【0002】

【従来の技術】

従来のCD編集録音装置は、CDプレイヤーから発生する、曲と曲の間の時間  
を表す曲間信号を入力し、メイン回路で曲間を予め設定した一定の時間に設定す  
る構成となっている。一定の時間に設定された曲間信号は、カセットデッキに送  
られ、カセットテープに録音される曲と曲の間の時間を一定にし、CD編集録音  
されたカセットテープの再生時に、曲の頭出しを容易にしている。

【0003】

【考案が解決しようとする課題】

この従来のCD編集録音装置では、曲間をすべて予め設定したある一定の時間  
に設定して録音が行なわれる構成となっているので、連続的に録音されている内  
容のCDを編集録音した場合、そのCDが持っている本来の内容を損う場合があ  
るという問題点がある。

【0004】

【課題を解決するための手段】

本考案のCD編集録音装置は、CDプレイヤーから曲間信号を入力して、設定  
曲間信号を出力するメイン回路と、前記設定曲間信号を入力して曲間表示信号を  
出力する曲間調整回路の表示部と、前記曲間表示信号を入力して曲間無信号の外  
部の記憶媒体へ出力する設定部と、前記曲間無信号を入力して曲間調整信号を出  
力する前記曲間調整回路の曲間調整部とを備えている。

【0005】

【実施例】

次に、本考案について図面を参照して説明する。

【0006】

図1は本考案の一実施例を示すブロック図である。

【0007】

図1において、本実施例のCD編集録音装置3は、CDプレイヤー1から曲間信号2を入力して、設定曲間信号5を出力するメイン回路4と、設定曲間信号5を入力して曲間表示信号8を出力する曲間調整回路6の表示部6-1と、曲間表示信号8を入力してカセットデッキ7へ曲間無信号10を出力する設定部6-3と、曲間無信号10を入力して曲間調整信号9を出力する曲間調整回路6の曲間調整部6-2とを備えている。

【0008】

次に、本実施例の動作について説明する。

【0009】

CDプレイヤー1から発生する曲と曲の間の時間を表す曲間信号2は本実施例のCD編集録音装置3に送られる。

【0010】

本実施例のCD編集録音装置3では、メイン回路4で曲間は予め設定されたある一定の時間に設定される。設定された設定曲間信号5は、曲間調整回路6に送られ、この曲間調整回路6の表示部6-1で設定された曲間時間が表示される。表示された曲間表示信号8は、設定部6-3に出力され、曲間時間を設定し、それを曲間無信号10としてカセットデッキ7に出力する。

【0011】

また、設定部6-3で設定された曲間時間を変更したい場合、曲間無信号10は曲間調整部6-2に出力され、曲間時間が曲間調整部6-2で調整され、曲間調整信号9として表示部6-1に出力され、以降上記と同様な手順の動作を行う。

【0012】

【考案の効果】

以上説明したように本考案は、CDプレイヤーから発生する曲間時間を認識し、それを表示部で表示し、曲間調整部で曲間時間を自由に設定することにより、そのCD本発の内容を損う事なく、他の記憶媒体へのCDの編集録音ができるという効果がある。